

王城わうじやうとは、王は往にして天下帰往の貌なり、城は盛なり、国都を盛受るの貌なり。又都城に三重の差別あり、京城、皇城、宮城といふ。京城とは総て都をいふ、則平安城へいあんじやうなり、皇城とは皇居の総構の内なり、諸司百寮ことごとく其内に
有、所謂大内裏といふ是なり、宮城は皇居なり。〔制度通〕

京師けいしとは、詩經公劉篇、陟南岡一乃觀于京一京師之野云云。是を鄭箋に、都邑を營立すべき処をいふ。朱註に、京は
高き丘なり、師は衆なり、高き山に衆く居するなり、蔡■が独断に云、天子都する所を京師となづく、京は水にたとへ
て地下の多きもの水に過たるはなし、地上の衆きもの人に過たるはなし、京は大なり師は衆なり、大衆の居する所を以
て天子の都になづく、爾雅には、天子高きに居して遠きを視の意なり、師は衆にして人民衆くこゝに聚るの謂なり。